



次代を拓く人材育成キャンプ 2026



Future Entrepreneur Camp @ 立命館アジア太平洋大学 (大分県別府市)

なぜ『次代を拓く』のか？

🌍 グローバルな視点:

多様な文化と価値観を理解し、地球規模の課題に立ち向かう。

🌱 実践的なスキル:

リーダーシップ、問題解決、コミュニケーション能力を育成。

💡 革新的な思考:

既存の枠にとらわれず、新たな価値を創造する力を養う。

この7日間で起きる変化

キャンプ参加者は、自己認識を深め、他者との協調性を高め、社会に対する責任感を育みます。

期待される変化:

- 起業家精神とキャリア構築（進路）の関連性を理解する
- 学び成長することと仕事との関連性を理解する
- 失敗を恐れることなく、果敢にチャレンジする姿勢を獲得する
- 自然や社会（世界）の一部としての自分を感じ、生きる上での指針を獲得する

🗣️ 参加者の声:

「これから色々なことを学び、経験して、たくさんの人と出会うと思います。それをただ漫然と受け入れるだけでなく、起きた物事に対して常に『どうして?』という視点を大事にして残りの高校生活を過ごします。この研修に参加して良かったです。」

👩‍🏫 教員の声:

最後のプレゼンに取り組む真剣さも、別れを惜しむ涙も、およそ日常の学校生活では見られない姿です。今回のプログラムにはテーマがあり、チームを形成して協働的な学びに主体的に関わることが求められる分、生徒の感じるハードルは高かったはずですが、一週間でこんなに変わるのかと驚きました。「人との関わりから学ぶ」プログラムを準備してくださり、本当にありがとうございました。

テーマ & Essential Question

2026年テーマ: 「起業家は世界をより良くできるのか？」

Essential Question: 起業家は地域活性化にどう貢献できるか？なぜ貢献しようとするのか？

5つの問い:

1. 起業家は地域のどの課題をどのように発見し、解決の可能性を見出すのか？
2. 地域の人々・組織・行政との協働は、起業家の取り組みにどのような影響を与えるのか？
3. 起業家の価値観や人生経験は、地域への貢献意欲をどのように形づくるのか？
4. 起業家が地域に持ち込むイノベーションは、持続可能な変化につながるのか？
5. 地域社会は起業家の挑戦をどのように支え、また影響を受けるのか？

プログラム構造

3つの学びの柱を中心に、実践的なプログラムを展開します。

- **知識と意思の学び:** 大学講義、起業家との体験、APU学生との協働活動を通じて、地域課題や社会課題に関する知識と視点を獲得します。
- **リアルな現場からの学び:** 佐伯市や別府市でのフィールドワークを通して、地域社会のリアルな現場に触れ、体験的に学びを深めます。
- **創造と実践:** プロジェクトを通して、アイデアを形にし、地域に価値を届ける実践を行います。

メンター体制（参加者の探究と成長を支える）

国際学生と国内学生によるメンター（5名に対して2名）が、全日程にわたって各チームを支援。安全面・心理的安心・探究のサポートの3軸から、参加者の主体的な挑戦と成長を支援します。

ファシリテーター（学びの伴走者）

次代を拓く人材育成キャンプのファシリテーターは、参加生徒の学びが深まるように、対話の流れづくり・問いの提示・グループ協働のサポートを行います。生徒自身の気づきと挑戦を引き出す「学びの伴走者」として、7日間を通して成長を支えます。

DAY1～DAY3

DAY1: チーム形成 × オリエンテーション（別府/APU）

- JR別府駅集合 → APUへ移動
- オリエンテーション（概要説明）
- 自己紹介と期待共有
- メンター紹介
- チーム形成活動

仲間づくりと安心感の形成

DAY2: 知識と意欲形成（APU）

- 起業家精神ワークショップ
講師：APU教員
- APU学生団体とのWS
- Reflection（振り返り）
- フィールドワーク準備

思考の広がり学びの基盤づくり

DAY3: 佐伯市フィールドワーク

①-1（浦100プロジェクト／農泊）

- 浦100プロジェクト講話
- 城山ハイキング（自然 × 地域の理解）
- 「船頭町のまちづくり」セミナー
- 佐伯鶴城高校など地元中高生との意見交換
- 豊南高校生との合同ワークショップ
- 農家民泊スタート

地域課題理解 × 他者協働 × 現場体験

DAY4～DAY7

DAY4: 佐伯市フィールドワーク①-2 (大入島／麴の杜)

- 大入島での牡蠣養殖 (シングルシード) 見学
- 第1次産業の働き方改革講話
- ぶんご銘醸「麴の杜」での地域活性化講話
- 夕方 APUへ戻る／別府フィールド準備

地域産業 × 社会構造の理解

DAY5: 起業家フィールドワーク② (別府各地)

5名+メンター2名の少人数チームで移動

- 1日1～2カ所：起業家／団体／事業訪問
- 課題に基づく取材・調査

価値創造の視点と「問い」の深まり

DAY6: 起業家フィールドワーク③ → 城島高原へ移動

- 少人数チームでの調査フィールドワーク継続
- APU集合 → 城島高原ホテルへ移動
- Reflection (振り返り)
- 成果発表準備

社会のリアルから学び、提案へ結びつける段階

DAY7: 成果発表 (城島高原ホテル)

- 最終プレゼン準備
- 生成AI活用スライドで成果発表
- 聴衆 (オンラインで広く配信)：地域実践者／大学関係者／教員など／家族／友人
- 振り返り → 修了式 → 解散 (別府駅へ)

「自分の言葉で語る力と探究の完成」

成果発表・評価

Final Presentation: キャンプの集大成として、最終成果発表会を実施します。各チームが7日間の活動成果をプレゼンテーションし、聴衆からのフィードバックを受けます。

評価の3ポイント:

1. 問いの理解と再構築：問いを自分の言葉で捉え直しているか
2. 自分ごと化の度合い：問いを自分の経験・価値観・未来と結びつけているか
3. 価値創造と未来への提案：自分たちなりの答えが、未来に向けた意味を持っているか

実施概要


- **日程:** 2026年8月2日 (日) ～ 8月8日 (土) =7日間=
- **対象:** 本研修を採用する採用学校生徒 中学2年～高校2年
- **2026年採用予定校:** 山手学院中学校・高等学校 (神奈川県横浜市)、明治学園中学高等学校 (福岡県北九州市)、立命館慶祥中学校・高等学校 (北海道江別市)、滝高等学校 (愛知県江南市)

- **定員:** 30名
- **料金:** 174,000円 (宿泊費、食費、教材費込み)
- **宿泊:** APU国際学生寮 (4泊)、佐伯農泊 (1泊)、城島高原ホテル (1泊)
- **主催:** LbE Japan 立命館アジア太平洋大学 (APU)
- **協力:** B-bizLINK 一般財団法人観光まちづくり佐伯 さいきグリーンツーリズム研究会


費用に含まない項目：

- 自宅～大分県別府駅までの交費
- 城島高原ホテル解散後の交通費
- DAY5 & 6のフィールドワークの移動交通費
- その他個人的な費用


APU × LbE の強み

 **APU:** 多様な文化が共存する国際的な学習環境

- “世界100か国”が同じキャンパスに存在する圧倒的な多文化環境
- 実践重視の学び：社会課題 × 地域 × フィールドワーク
- 起業家精神・リーダーシップを育てる教育文化

 **地域:** 地域の力と挑戦者に学ぶ「実践探究フィールド」

- 暮らしに根ざした「リアルな地域」を学ぶフィールド
- 挑戦する地域の実践者との出会い
- 地域と共に創る価値提案型の探究

 **LbE:** 体験を価値に変える探究プログラム設計力

- 体験を学びに変える設計力
- 体験を深めるファシリテーション力
- 地域を学びにつなぐ連携力

次世代を担う皆さんへ

このキャンプは、あなたの可能性を最大限に引き出すための第一歩です。人生や社会の様々な課題に立ち向かい、新たな価値を創造する力を、私たちと共に育みましょう。

未来は、あなたの手の中にあります。